

と考えている。区民文化センターの運営は、指定管理者が行うことになるが、その点についてもきちんと整理していきたいと考えている。

草間議員：アイデアミーティング参加者が運営に携わることが難しくならないよう配慮していただきたい。

望月議員：用途地域の変更について、区の間わりを伺いたい。

佐藤区政推進課長：用途地域の変更は、建築局が所管であるが、地域の要望をお聞きしながら、所管局と連携していきたいと考えている。

望月議員：地域の声を聴き将来の需要を見越したまちづくりを進めていただきたい。

【地域支援の種（たね）事業】

藤居議員：地区カレンダーの発行部数について伺いたい。

篠崎地域振興課長：750部を予定している。

藤居議員：グループウェアの導入支援について、具体的な実施内容を伺いたい。

篠崎地域振興課長：グループウェアの導入により、スケジュール調整や情報共有を円滑に行うことで、自治会町内会役員の負担軽減を図っていきたい。

草間議員：有意義なものであれば広げていくべきだと思う。

【区役所改善推進事業】

藤居議員：音声翻訳機と会話の内容が第三者に漏れることを防ぐ音響発生装置について、どういったものなのか伺いたい。

金指総務課長：音声翻訳機は、相互に相手の言葉を話せない人同士が自国の言葉で会話ができる双方向の翻訳装置を想定している。音響発生装置は、プライバシーを保護の観点からお客様との会話の内容が他の人に伝わるのを防ぐため、会話中の音声をカモフラージュした音を発生させる装置で、主にこども家庭支援課で使用することを考えている。

斎藤議員：それぞれ何台購入するのか。

吉田副区長：音声翻訳機が2台、音響発生装置は1台を予定している。

【広報・広聴事業】

斎藤議員：ガイドブックの配布対象の見直し内容について伺いたい。

佐藤区政推進課長：これまで転入者向けに配布していたが、要望の多い都

筑区内の施設等を掲載し、転入者に限らず広く都筑区民を対象としたガイドブックを発行していきたいと考えている。

【妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業】

斎藤議員：学童保育の施設について、都筑区の状況を伺いたい。

斎藤学校連携・こども担当課長：学童保育施設について、耐震基準及び面積基準があるが、現時点で基準を満たしていないものが、1施設ある。令和2年4月に向けて基準を満たす物件を選定している状況であり、区役所でも支援をしていきたいと考えている。

斎藤議員：引き続き支援してほしい。

【保育所を拠点とした地域子育て支援事業】

草間議員：積木の都筑は良い取組であるため、台風などによる倒木を活用して積木を作ることはできないか。

仲澤土木事務所長：計画的にできるかどうか今後検討させていただきたい。

【地域で支える高齢者支援事業】

望月議員：認知症カフェの現況について伺いたい。

鈴木高齢・障害支援課長：認知症カフェは区内に9箇所ある。地域住民主体で運営し、地域ケアプラザや区役所で運営の支援をしている。会場の確保など運営している方々への支援をできる限り行いたいと考えている。

斎藤議員：予算額が前年度と比較して減っている要因について伺いたい。

鈴木高齢・障害支援課長：高齢・障害支援課窓口において配付するパンフレットや資料を、お持ち帰り用のトートバックに入れてお渡ししている。そのトートバックの作成を終えたことによる減である。

【未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業】

草間議員：パブリックビューイングについて、どのような運用を想定しているのか伺いたい。

篠崎地域振興課長：詳細なスケジュールがまだ示されていないため、対象競技や日付などはこれから検討する。

草間議員：英国水泳代表チームが事前キャンプを行うが、事前の交流機会の有無で、パブリックビューイングで英国チームを応援する区民も増えると思う。難しいとは思いますが、事前の交流機会はできそうか。

篠崎地域振興課長：交流については、市民局と調整中であるが、商業振興会や自治会町内会とPRイベントができないか、調整を進めているところである。

草間議員：ぜひ調整してほしい。

【災害にそなえる自助・共助の推進事業】

藤居議員：災害時のペット対策事業について、啓発や支援をどのように実施しているのか。

森田生活衛生課長：地域防災拠点訓練の際、啓発用パネル・ちらし、防災グッズ等を用意し、各拠点からの要望に応じて説明している。また、発災時の犬のケージを啓発用に貸出している。

斎藤議員：アマチュア無線機器等に係る総務省の無線設備規則の改正の概要について伺いたい。

金指総務課長：スプリアス規制の許容値の変更によるもので、必要周波数の外側に発射される不要な電波の許容値の規制が強くなったものである。

【危機管理対策推進事業】

斎藤議員：防災用スピーカーの設置箇所について伺いたい。

金指総務課長：早淵川流域に6基、鶴見川流域に5基の合計11基が既に設置されている。鶴見川流域の浸水想定区域をカバーできていない上流部分を中心に設置箇所を検討している。

望月議員：発災時を想定した学校備品等の整備について、区から要望をすることはできないか。

吉田副区長：基本的には教育委員会など所管局での対応となるが、区内の施設であるため、所管局へ予算につながる意見や要望を伝えることはできるものと考えている。

望月議員：必要に応じて、検討をしてほしい。

【環境にやさしいまち推進事業】

藤居議員：緑のカーテンの現況と今後の設置方法について伺いたい。

佐藤区政推進課長：区庁舎については、図書館の外側に設置されている。また、毎年区内小中学校へ募集を行い、約10校程度希望があり設置を支援している。新たに、地域ケアプラザ及びコミュニティハウスでも募集し、希望があれば支援をする予定である。

【第4期都筑区地域福祉保健計画策定の基本的考え方(骨子案)について】

藤居議員：素案に対する区民の意見募集の実施方法について伺いたい。

山本福祉保健課長：素案を冊子にまとめて公表予定である。その冊子にはがきがとじ込まれているので、そのはがきに、ご意見を記載していただきご返送いただくものである。

【台風 19 号における都筑区の対応及び課題への対応について】

望月議員：別紙資料で避難場所毎の避難者内訳があるが、避難対象となった世帯数や人数を伺いたい。

金指総務課長：指定緊急避難場所はその性質上、近隣住民の方だけを対象としたものではないため、避難場所毎の対象世帯数や人数については明確ではない。

望月議員：避難場所開設に伴う区役所職員の人員配置について伺いたい。

金指総務課長：開設時には、2名の職員を配置した。避難された方が多い拠点については、1名増員し3名の職員を配置した。

望月議員：従来からの運用なのか。

金指総務課長：基準が示されているものはないため、結果として今回はこのような配置とした。危機管理推進会議の専門部会においても、避難場所の運営方法については課題となっており、今後検討されていくものと考えている。

望月議員：地域防災拠点の避難場所である学校の体育館で、台風 19 号により雨漏りがあったが、事前の確認が必要なのではないか。

金指総務課長：雨漏りについては、日頃の施設管理の問題ではあるが、地域防災拠点との連携の中で十分対応していただくようお願いをしていきたい。

望月議員：災害が続くと職員も疲弊していくと思うが、適切な数の人員を配置できたか。

金指総務課長：発災時における人員配置は課題があると考えている。通常業務と災害対応を限りある人員でどのように配置するのかなど、本市全体の課題として検討をしていきたいと考えている。

望月議員：現場で対応する皆さんの意見などあれば、今後お聞かせいただきたい。

藤居議員：資料の中で課題が挙げられているが、台風対応の現状を見て、不安や課題などはあるか。

金指総務課長：先程の発災時における人員配置であったり、避難所の運営ルールの細部が明確になっていないことが挙げられる。例えば、暑さ寒さ対策、車両での避難など諸々の案件について、総

	<p>合的に検討していきたいと考えている。</p> <p>藤居議員：案件毎に具体的な検討を進めていただきたい。</p> <p>斎藤議員：即時避難勧告対象区域の方々は全員避難したのか。</p> <p>金指総務課長：即時避難勧告対象の方は、5地区11世帯であり、避難勧告時に電話で連絡をするほか、電話に出られなかった場合、避難勧告書をご自宅にポストインしている。最終的に避難をしたのかについては、把握していない。</p> <p>斎藤議員：避難したのか確認することができないか。</p> <p>金指総務課長：各世帯での判断があるため、避難情報をお届けすることを確実に対応していきたいと考えている。</p> <p>斎藤議員：雨が止んだあとや警報解除後に土砂崩れが起こることを想定する必要はないのか。</p> <p>金指総務課長：土砂災害警戒情報は、雨が止んだあとも土壌雨量指数等を踏まえた警戒レベルであることから、この土砂災害警戒情報をもとに避難情報を伝えていく。</p> <p>草間議員：様々な課題が出ている中で、例えば震災対策訓練に代えて、水防訓練を実施するなど、地域の状況に応じた訓練体制を構築していく必要があるのではないかと。</p> <p>吉田副区長：震災対策訓練について様々な意見をいただいていることや水防訓練の必要性が格段に高まっていることから、防災訓練の内容を見直す時期にあると考えている。</p> <p>草間議員：訓練を実施していく中でも考えながら訓練内容を模索していただきたい。</p> <p>【その他：新型肺炎関連】</p> <p>長谷川議員：新型肺炎の対応として窓口でのマスク着用はしないのか。</p> <p>中野区長：局区長会議で議論があった。マスクをすることによってことさらに心配なエリアであるという印象を与えるデメリットもあり、強制的なマスクの着用に否定的な意見もあった。職員が発症した場合の対応なども含め、警戒本部で検討されており、まとまった対応が近いうちに示されるものと考えている。</p>
備 考	